



月刊地球さん

heello

第5勢力、HEELLO参戦!

激化するメシテロストリーム

発生から1ヶ月、一向に収束する気配なし!
背後に大規模テロ組織の存在も示唆!?

あべにゅSTYLE

GOOGLE+が俺にもっと輝けとささやいてる

大量の画像を一気にダウンロード「最強ツール」



PICASAを 使い倒せ!!

Picasaを使い倒せ！



Google+で社交する紳士諸君。

このGoogle+というサービス開始当初から、目玉機能の一つであるPicasa連携の画像共有機能を最大限に活用して非常に卑わ・・・あ、いや非常に紳士的な画像が共有されている。当初は小規模に行われていた交流であったが、紳士諸君の活動の程は止まる所を知らず、100枚、300枚、私が知る限り最大で999枚の画像を提供した猛者も現れた。

さて、日々この大量にアップロードされる画像の収集に四苦八苦している紳士諸君も多いのでは無からうか？そこで今回は画像の収集を支援してくれるツールを紹介しよう。

■ DownloadSupport for Google+ & Picasa



URL : <https://chrome.google.com/webstore/detail/oopphfkjddalnmmhonblampfaepicol>

一つ目は 飛田天 氏が作成したツールから。

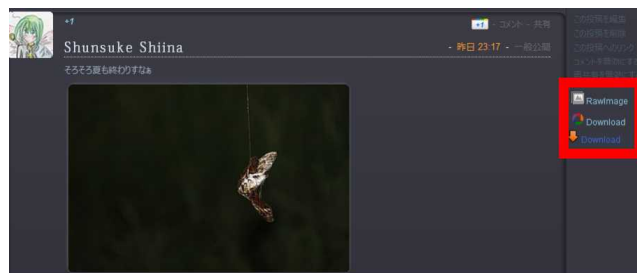
上記URLの先にあるWebページの紹介を読んでも解ると思うが、このツールはストリーム上に表示された画像の近くにその画像をダウンロードするリンクを表示する。アルバム単位の共有であればそのアルバムをごっそりとダウンロードする為のリンクが表示される様になる。

右図の写真下部にある3つのリンクが、この拡張によって追加されたモノだ。

なお次章で紹介する「あべにゅスタイル」を適用していた場合は画面右側にリンクが表示される事なる。



■ 通常時



■ あべにゅStyle適用時

一つ注意点として覚えておいて頂きたい事がある。このアルバム単位のダウンロードを行うには事前にPicasaのインストールが必要だ。

■ View original size image for Picasa



URL : <https://chrome.google.com/webstore/detail/nkkdbkckhkoiahnjhakahonekfconan>

さてこちらはじっくりと画像を吟味したい紳士向けの拡張だ。

この拡張機能の作者は Masanobu YOSHIOKA 氏であり、なんと氏はご存じあべにゆのJavaScriptの師であるお方だ。この拡張を入れた後、ストリーム上にある画像の上で右クリックするとそこに

「View Original size image」

というメニューが追加されているのが解るだろう。



■ 右クリック後に表示されるメニュー

これをクリックすればChromeの別タブで本来のサイズで画像が表示される。

なおこれはGoogle+標準のアルバムビューワーで画像を閲覧している際にも使えるので大量の画像の中から琴線に触れた画像だけをダウンロードしたいという紳士達の要望に応えてくれるだろう。

■ 便利なブックマークレット

さて最後に拡張を使わずにGoogle+とPicasaを活用する方法を紹介しよう。

下記で紹介するJavaScriptをブラウザにマークレットとして登録しておく事で利用が出来る。本来は最初にこの方法が使われたが、より便利にする為に前章まで紹介した様なツールが生まれてきた。だが上記の拡張機能が何をやっているのかを理解する役に立つだろう。

G2P ... Google+のプロフィール画面からPicasaへ

```
javascript:var src=location.href; var i;if(i=src.match('[0-9][0-9]+')){location.href='https://picasa.web.google.com/'+i};
```

G2PP ... Google+のプロフィール画面から「投稿からの写真」一覧へ

```
javascript:var src=location.href; var i;if(i=src.match('[0-9][0-9]+')){location.href='https://picasa.web.google.com/'+i+'?alabel=photos_from_posts'};
```

P2G ... PicasaからGoogle+へ

```
javascript:var src=location.href; var i;if(i=src.match('[0-9][0-9]+')){location.href='https://plus.google.com/'+i};
```

あべにゅStyle

~Google+が俺にもっと輝けとささやいてる~



from gekkan-chikyu

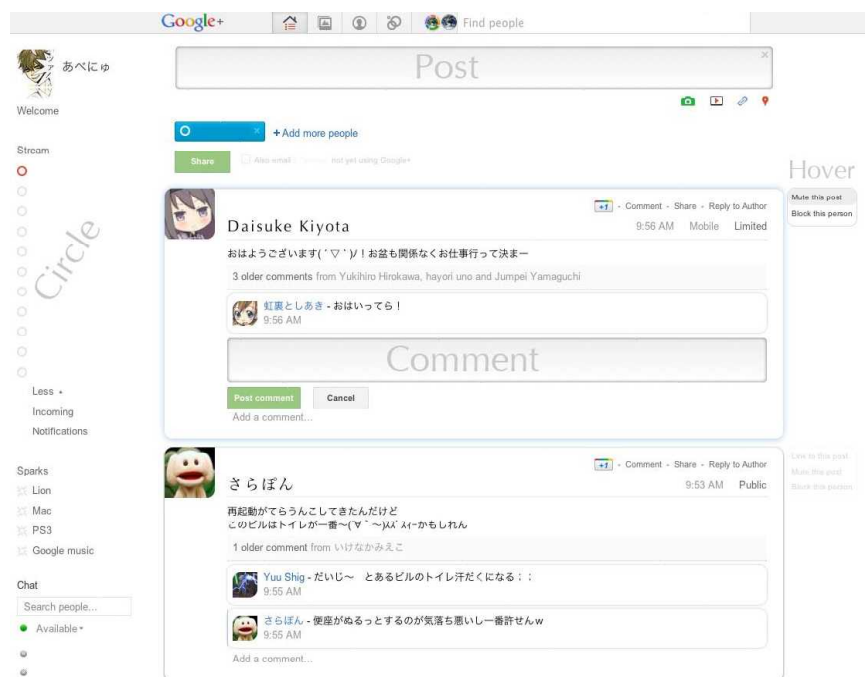
あべにゅStyleGoogle+が俺にもっと輝けとささやいてる～



文末の！！！！！！がトレードマークのGoogle+随一の人気者、あべにゅあべにゅさん。彼の投稿は、正直な所頭が気の毒な感じがする物が多いのだが、彼（もしくは彼女？）の作成したGoogle+用独自CSSはその普段の発言や行動からはとても想像が出来ないほどに完成度が高く、また美しくスタイリッシュなモノである。

■ Google Plus - Wide & Clean

URL : <http://userstyles.org/styles/52051/google-plus-wide-clean>



あべにゅの代表作である「Wide&clean」、通称「あべにゅStyle」はデフォルトのGoogle+の狭いコメント記入欄や投稿をワイドにできるということが大きな特徴だ。

更に友達候補、ビデオチャットルーム、ともだちの招待など、あまり使わない機能を画面上から隠す事により余計な機能が視界を煩わせる事もない。

不要な機能を廃し、画面上の希少なリソースを必要な機能に回す事で全体としての使いやすさを向上させるという、非常に非常に実用的な拡張になっている。

また彼の拡張はAAにも気を配っている。そもそもGoogle+は文字数制限もきついTwitterとは違い、一つの投稿で2万文字まで利用出来るので、AAが貼られる事が多い。その際貼り付けられたAAが崩れない様に表示する事が出来る様になっている。

さて彼が作成したあべにゅStyleを利用するにはChromeの拡張機能の一つ「Stylish」をインストールしておく必要がある。まずあべにゅStyleのWEBページに移動する。続いて下図の赤枠の中にある「Stylish」をインストールするためのリンク

をクリックする。Stylishが終わった後、再度この画面をリロードすると、やはり赤枠付近に「Install with Stylish」と書かれたボタンがあるのでこれを押すと、Styleがインストールされる。

userstyles.org - Google Plus - Wide & Clean

Home
Log in
Help
Forum
Categories

Search

Show options

Related
[Google Plus - Like Twitterrific](#)
[Google Plus - Like Twitterrific Avenew](#)
[Google Plus - Kurayami](#)
More [Google themes](#)



Author plusavenew
Created Aug 8, 2011
Updated Aug 26, 2011
Installs (this week) 143
Installs (total) 626
Average rating OK

More Info

Wide View & Clean UI, *Work in Chrome*, AvenewPlus!!!!!!!!!!!!

Screenshot - [\[*\]](#)

Theme Name: Google Plus - Wide & Clean

Theme URI: [\[*\]](#)

Author: [\[*\]](#) AvenewAvenue - あべにゅあべにゅ

Special Thanks: [\[*\]](#) Masanobu YOSHIOKA | [\[*\]](#) DITA sou | [\[*\]](#) 坂上田村麻呂 | [\[*\]](#) Kawa U | [\[*\]](#) あきよげ

First install [Stylish](#) to use this style.

Chrome

JavaScript. Site is allowed to run

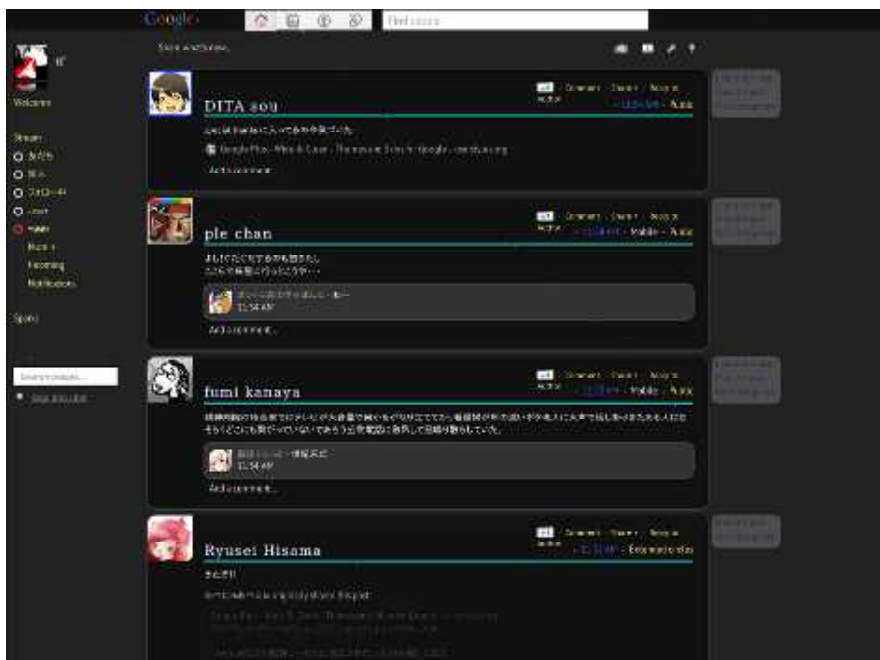
JavaScript.

Or: [install as user script](#)

さて以上で準備は完了だ。Google+のWEBページを開いてみよう！

■ Google Plus - Wide & Clean (Dark Style)

URL : <http://userstyles.org/styles/52243/google-plus-wide-clean-dark-style>



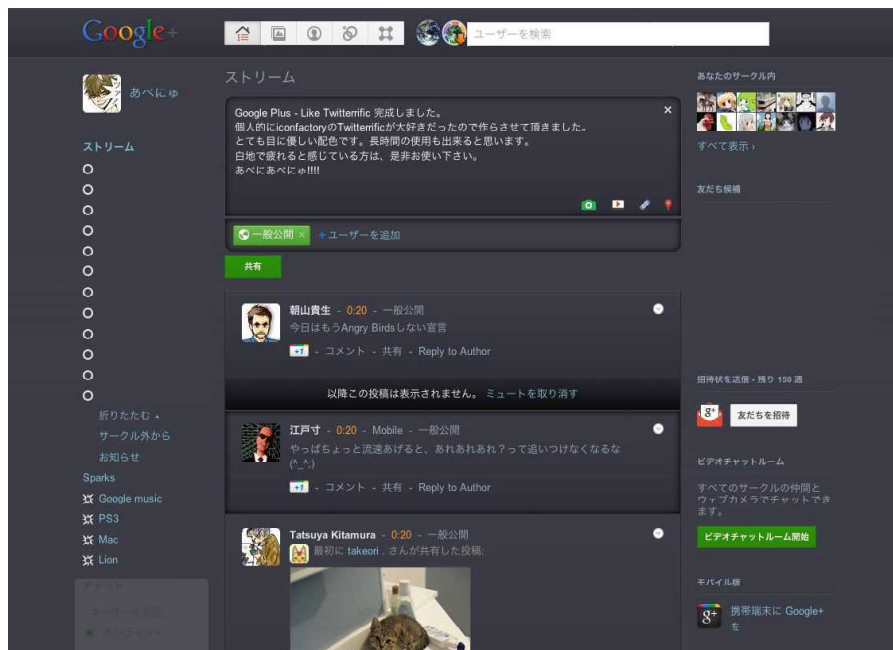
迷言は多いが名言が少ないあべにゅの中で、「一つだけ言える真理がある、男は黒に染まれ」という素晴らしい至言がある。この名言を形にしたのが、あきよげ氏作成の「Wide&Clean Dark Style」である

見ての通り黒ベースのStyleになっており最近の輝度が高いディスプレイではこちらの方が見やすく疲れにくいのではないだろうか？

こちらも先程紹介した方法と同じやり方で簡単に導入する事が出来るので、是非試してみてほしい。

■ Google Plus - Like Twitterrific

URL : <http://userstyles.org/styles/52364/google-plus-like-twitterrific>



さて最後にあべにゅが作った黒いStyleを紹介しよう。

これはタイトルの通りTwitterのクライアントの一種である「Twitterrific」の配色に画面を似せたモノだ。

やはり黒ベースなだけありこちらも目の負担を減らす事が出来るだろう。

■ Google+仕様変更との戦い

この記事執筆している時点(2011年8月28日)で、紹介した各Styleは問題なく利用出来る。しかしGoogle+はまだフィールドテスト中なサービスな上に、かなりの頻度で改修が行われており、ある時突然Styleが崩れるという自体が十分に起こりえる。その際は作者達が対応してくれるのをじっくりとまとう！ CSSを使いWEBデザインをした事がある人は解ると思うが、これはかなり難しい作業なのである。

激化するメシテロストリーム

発生から1ヶ月、一向に収束する気配なし！
背後に大規模テロ組織の存在も示唆！？



Google+ストリーム上に2011年7月14日に初のメシテロ画像が投稿されてから1ヶ月以上が経過した。
にも関わらず、現在でもなおメシテロストリームが加速し続けている。

ある者は自宅の夕食を、ある者はレストランの食事の画像をUPし、まだ食事を取っていない人の空腹を刺激し続けるという行為である。



テロリズムの発生時間としては

- ・昼12時頃
- ・夜23時頃
- ・深夜2時頃

の三度のピークを持ち、おいしそうな食べ物の画像を数枚貼り付けていくという、ちょうどその時間帯に仕

事、或いは何らかの用事を抱え食事を取れずに空腹を抱えている者にとって残虐極まりない行為を行うものである。その効果は絶大であり

「俺にも食べさせろ」

「ちょっとコンビニ行ってくる」

「こんなの絶対おいしいよ」

「逝ってしまったわ、円環の理に導かれて・・・」

等の被害者の声が聞かれる。



現在のところメシテロに対する有効な対策方法は、

「先に満腹になっておく」

方法しかないとされており、一人暮らしでおいしいご飯を食べられない人や、仕事で忙しくご飯を食べられない人にとっては毎日続く、頭痛の種になっている。

なお、高カロリーなものほど一般にダメージが大きいとされている。やはりこれは人間としての性、或いは業なのだろうか。



深夜にはカップラーメンや、カレーなどの画像が多くあげられる傾向が見られる。

逆にお昼のランチタイムには軽めの写真があげられる事が多いが、中には配偶者の手作り弁当などをUPし「その弁当を届けてくれ」

「リア充爆発しろ」

などと精神的ダメージをより深く受けるものが多数発生する事態も起きている。

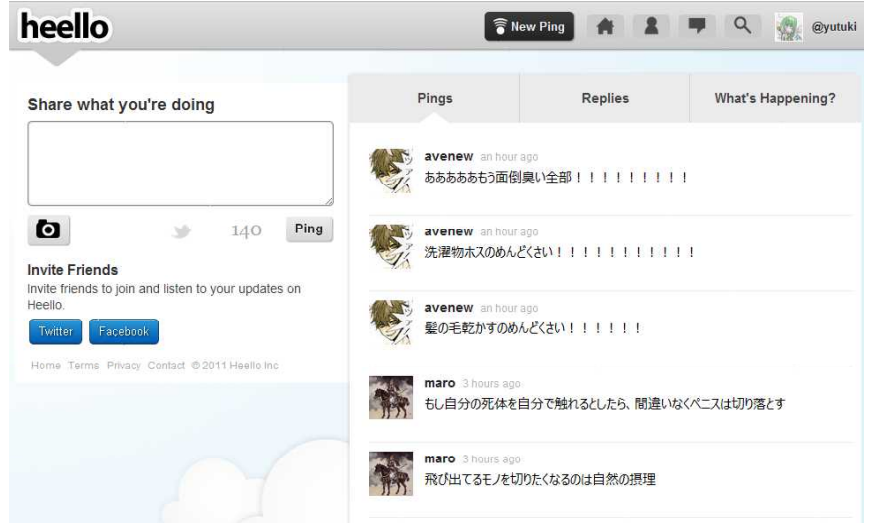


現在、国家安全保証局がGoogle+専用メシ画像排除用アプリを開発しているという情報もあり。テロリストと当局の戦いは当分続くと見られている。

mixi、twitter、facebook、Google+に続く第5勢力、heello参戦！

月間地球さんのピンチ！

どうなる？これからのgoogle+



今夏、新たなSNSサービス「heello」が加熱するSNS戦争に参戦した。

この新サービスを調べる為に、筆者自らアカウントを取得し、heelloに突入取材を敢行した、以下はその報告である。

アカウントも作成しログインも済ませたので取り敢えず何かを発言してみようと、文章を打ち込み始めた。聞いた所によると、つぶやける文字数はTwitterと同等の140文字までだと言う。

・・・おかしい。140文字の文章が長すぎると出て投稿出来ないのだ。ちょっと聞いてみると日本語は**46文字**までしか入力出来ないという驚愕の事実が発覚した。更に特殊な日本語を使うとたった34文字しか打てないという事である。どうやら文字数ではなくデータ量で打ち込める文章を計っている様である。これはなんとアグレッシブな取り組みであろうか。

文字数の衝撃が大きかったので、肝心の画面の説明が遅れてしまった。画面構成は非常にシンプルで

- ・つぶやきを書き込むウィンドウ
- ・ストリーム
- ・各種メニュー（友人検索、プロフィール等）

がある程度である。最近の高機能化したSNSサービスを使いこなせない人でも簡単に利用できるだろう。

そしてheello最大の目玉機能は「Echo」である。これは感銘を受けた他者の発言を他の人にも見てもらう為の機能である。このEcho機能を使うことにより、自分が見つけた素晴らしい発言を他者に簡単に紹介できるのだ。

更に現時点では詳細な規約が定まっていないためか、エロ画像を始めとするアウトな画像も大量に投稿されている。その為普通のGoogle+では決して見られない様な紳士な画像を入手する事も可能だ。

ストリームも非常にゆっくり流れ、落ち着いて読むことが出来る。忙しい人でもちょっとした待ち時間や、ふと時間の開いたときに気軽に閲覧する事が出来るだろう。

筆者がheelloのサービスを知ったのがGoogle+上であったため、heelloのコンタクトリストも殆どがGoogle+での知り合いばかりだ。今後一般の方もこのサービスを知り利用し始めるだろう。そうなった場合他のSNSサービスの脅威となることは明白であり。各SNSサービスには一層の努力が求められる、まさにSNS群雄割拠の時代になったといえよう。

ちょっと思いついたことや、短文を人に伝える事に関しては他の追随を許さないサービス、heello まだメジャーになってはいないが、この夏、いろいろな意味で目が離せないSNSである。

この夏 垢BANされないための3つの方法

今夏は猛暑な上に節電の煽りをうけ、全国各地で暑さとの対決を強制されている紳士の方々が大勢いらっしゃる事であろう。さてそれらの多くの方々は同時にもう一つの戦いを迫られていたのではないだろうか？

そう、Google+でのアカウント停止、または **BAN** だ。



運良く私はまだ遭遇していないが、私が眺めるストリーム上では突然プロフィールが見えなくなる、突如メンションが打てなくなる等の事例をよく見かける。



そして同時にGoogle+でアカウントを一時停止させられ、アカウント停止解除のために電話確認を求められるという非常に煩わしい作業を奥歯をかみしめながら

ら行っている姿を、何度も目撃してきた。

されてこれらの原因は何であろうか？ Google+の規約から考えるに下記の様なモノがある。

- エロ画像の一般公開
- 画像の大量UP
- アカウント設定上の明らかな偽名

なおこれら以外にも条件はあると思われる。

実際理由がよくわからずに消えてしまうユーザも何名かいたのだ。現在、確たるアウトとセーフの境界はよく訓練されたGoogle+民が体を張って確認している最中である。

では対策はどうしたらいいだろうか？ 前述のBAN条件を考えれば以下の様な事が考えられる。

- 本名(っぼい)を名前を利用する
- サブアカウントで紳士画像の投稿をする
- 投稿範囲を限定する(紳士サークルを作る)

の3つがあげられる。

それぞれの問題点とメリットを以下にそれぞれ上げる
本名を使う場合のデメリットは、勿論個人情報を公開したくない人には使えないという事だ。エロストリームや馬鹿な話をするのに、本名を使いたくない人は多いはずだ。むしろ殆どの人が実名は出したいと考えているだろう。

巧くそれっぼい名前を使っていればBAN対象になる可能性はへるが、万が一再認証を要求され、実名と証明出来るモノを提出するように求められた際に、その証拠を出すことが非常に困難になってしまう。

サブアカウント取得の場合、本アカウントまでBANの影響が出ることがないため、サブアカウントでやりたい放題できるというメリットがある。問題点としては、

主アカウントのサークルを利用することが出来ないの
で何らかの方法で画像投下用のアカウントである事を
紳士達に周知する必要があるという事だ。またサークル
の新規作成と管理が地味に面倒くさいのも問題として
数えて良いだろう。

そして最後にユーザの切り替えが面倒な事だろう。な
お筆者はChromeのシークレットウィンドウを利用し
て画像投下用アカウントを運用している。



投稿を限られた紳士にのみ行う場合のメリットとして
は、まず限定公開のため通報などがほぼ行われ
ない。訓練された紳士にのみに届くためBANの
可能性が減ることである。

しかしこの方法はBANの可能性を減らすことが
出来るだけで、その投稿しているアカウント
自体がBANされる可能性が残る事が問題である。

さて以上の事を踏まえ、画像投下をする場合
の推奨方法は下記の通りだ。

■サブアカウントを用意する

やはり万が一の事を考えればこれは推奨せざるを得
ないだろう。BANをメインアカウントから極力遠くへ置
いておくべきだ。

■サークルから誰かを除く事を恐れない

正直なところこれは疑心暗鬼になってしまう為に出来
れば行いたくない作業だ。しかし自分の身を守る方法
としてはこれを推奨する。何らかの疑惑があるユーザ
は心を鬼にしてサークルから除外した方がいいだろう。

■画像投稿は必ず再共有禁止にする

自分が投げた画像投稿を、万が一誰かが再共有してし
まいこういった画像を快く思わない方の目に触れてし
まう可能性がある。この様な場合、不正報告等を受け
てBANの確率が上がってしまう。

これを防止する為に、画像を投稿した場合はすぐさま
右上のボタンから再共有を無効にしよう。

以上、簡単ながらBANから遠ざかる方法を書いたが、
忘れてはいけないのはGoogle+サービスがまだ正式リ
リースではない事だ。サービス開始に向けて起きうる
問題を解決しようとしている段階である事を忘れては
ならない。このような状況下では、余り機能を酷使しな
いユーザよりもヘヴィに使いこなしていぢくりまわす
ユーザの方があらゆる制限に引っかかりやすい。

そういった面において、アカウントBANを受けたユー
ザは運営側が考えなければ成らない問題を掘り起こし
た、貴重な最高ユーザなのでは無いだろうか。